

FUKUROI

袋井市まるわかりブック

Good

グッドくる街、袋井市。



クラウンメロンの一大産地、袋井市。



厳しい審査を通ったメロンだけに与えられる王冠のシールは、果物の王様の中でも最高級ブランドの印。記された生産者番号は、安心・安全と自信の証です。



「果実の王様」マスクメロンの最高級ブランド

クラウンメロン

T字型のツルに美しいネット模様、芳醇な味と香り。1本の木に1番良い実だけを残し、全栄養とおいしさを凝縮させる「一木一果」の栽培方法で育て上げられるクラウンメロンは、生産者の高い技術と愛情でできています。袋井市での温室メロン栽培は100年の伝統を持つ産業のひとつ。袋井市はクラウンメロンの一大産地です。



心にグッドに響く袋井市のいいところ

「シズオカ・ショック」
あの感動を生み出した
スタジアム。

5万人収容可能な県下最大の多目的競技場。スポーツや音楽、文化・芸能など、様々なイベントの舞台として多くの感動が生まれる場です。



RUGBY WORLD CUP 2019

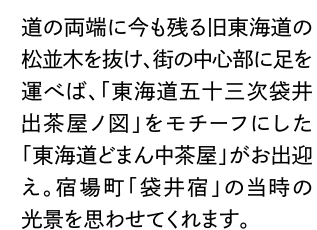


豊かな自然に囲まれた、県下最大の多目的競技場

エコパスタジアム



2019年9月28日、ラグビーワールドカップ2019™日本大会で日本代表が当時世界ランキング首位に立っていた強豪アイルランドに勝利。日本中が歓喜し、世界が驚嘆した「シズオカ・ショック」の地がこのスタジアムです。ラグビー元日本代表の福岡堅樹選手の逆転トライシーンをモチーフにしたブロンズ像が、その記念として建てられています。





FUKUROI

袋井市まるわかりブック

このまちには、山や海、田園や茶畑、美しく咲き誇る花々など、豊かな自然があります。

このまちには、遠州三山の名で親しまれる名刹：法多山・可睡斎・油山寺や東海道袋井宿、五穀豊穰を祝う祭りなど、古来より守り受け継がれてきた伝統や文化があります。

このまちには、国内最高峰のブランドメロンやワールドカップで世界を沸かせたスタジアム、規模・質とも国内屈指の花火大会など、内外に誇る数々の地域資源があります。そして何より、このまちには、いつも元気で笑顔あふれる心優しい市民がいます。

この「袋井市まるわかりブック」は、本市の様々な魅力を写真と動画で皆様にご紹介するものです。本冊子をご覧いただき、袋井市に興味を持っていただけでしたら、次はぜひ実際にこの地を訪れて、本当の感動に出会ってください。

袋井市長
大場 規之



グッドくる街、袋井市。

CONTENTS



- P.02 マスクメロンの最高峰「クラウンメロン」
- P.04 あの感動の地「エコパスタジアム」
- P.06 旧東海道のちょうど真ん中「どまん中袋井」

Good Feeling

袋井のイイ感じなスポット

- P.10 厄除観音 法多山尊永寺
- P.12 秋葉総本殿 可睡斎
- P.14 目の霊山 油山寺

Good Taste

袋井のおいしいもの

- P.16 たまごふわふわ
- P.17 げんこつハンバーグ / 袋井
おはたき肉巻き / メロンのスイーツ
- P.18 ふくろい茶
- P.19 地酒 / ふくほまれ

Good Time

袋井の楽しいひととき

- P.20 ふくろい遠州の花火
- P.21 可睡ゆりの園 / 可睡齋ぼたん苑 / コスモス畑
- P.22 ヤマハリゾート 葛城北の丸
- P.23 袋井温泉 和の湯 / 大日ホテルの里 / 同笠海岸

Good Old Culture

袋井で受け継がれる文化

- P.24 袋井秋祭り
- P.25 山梨祇園祭 / 稚児流鏑馬
木原大念仏 / かさんぼこ

History

- P.26 ふくろいの偉人
- P.28 袋井市のあゆみ

袋井市の政策

- P.30 日本一健康文化都市
- P.32 施策体系
- P.34 袋井市基本情報

「はったさん」と親しまれる厄除消除の名刹

厄除観音 法多山 尊永寺

豊かな自然に囲まれ、歴史や伝統文化を伝えている「はったさん」。奈良時代に聖武天皇の勅命により開かれ、本尊の正観世音菩薩は厄除観音として知られています。本堂は鎌倉時代の様式を再現した風格のあふれるもの。桃山時代の様式を今に伝える「仁王門」、「金銅五種鈴」は国重要文化財に指定されています。



御守り袋

日本の伝統的な模様が施された華やかな約30種の「古代裂御守袋」が並びます。毎年お正月には新柄が登場！中の御守りだけを返納して、気に入った御守り袋を使い続けることもできます。贈り物にも。

凶が多いおみくじ？

厳しいと感じても江戸時代の内容とほぼ同じ。当時は小さな病でも命に関わることが珍しくありませんでした。そう思い読んでみると、命の尊さ、恵まれた時代に生を受けた感謝へと変わります。



星満夜

9月下旬から10月上旬の新月の週末に開催。ライトダウンされた境内から美しい星空を眺めます。天体観察やワークショップ、飲食の出店など楽しいイベントも盛りだくさん。



田遊祭

法多山の正月行事として毎年1月7日に開催。五穀豊穡を願い、米作りを舞楽で表現する伝統芸能です。室町時代から伝わり、国記録無形民族文化財にも指定。祭り後の福餅投げも楽しみのひとつ。



万灯祭

一年で最もご利益のある7月10日にお参りをすれば4万6千日分のご利益があり、灯を奉納すれば倍増するとも伝えられています。7月9日、10日の「万灯祭」は何千もの灯籠で幻想的な夜に。



厄除だんご

一口サイズの団子が5本ひとつなぎになった名物。なめらかなあんこ、もちもちのだんごは一服やお土産にもぴったり。毎月の「功德日」には「茶だんご」も販売。ほか、期間限定の味も！





600年の歴史を刻む曹洞宗の古刹

秋葉総本殿 可睡齋

徳川家康公と深いゆかりがあり、火防の信仰の中心拠点の秋葉総本殿としても知られています。四季折々の花が楽しめることから、別名「花の寺」としても名高い禅寺です。元旦から3月末日まで開催される袋井の春の風物詩「可睡齋ひなまつり」は、国内最大級のひな壇におひな様がずらりと飾られ、その光景は圧巻です。



御真殿



坐禅体験

東海随一の禅の道場であり、坐禅の体験ができます。坐禅堂で何も考えずにただ座り、聞こえるのは呼吸だけ。やがて五感が研ぎ澄まされるような感覚に。静寂の中、自分と向き合う時間です。



天井絵

国の文化財に指定されている瑞龍閣。大広間には花や鳥等が描かれた大襖や、華やかな格天井など絢爛豪華な迎賓施設。ときを忘れてしまうほど優美な空間が広がります。



精進料理

動物性の食材は一切使用せず、旬の野菜を中心に命を最大限に活かした精進料理。旬の食材を取り入れるため、季節ごとの献立が楽しめます。



火祭り

火防信仰である秋葉信仰の由緒あるまつり。約1300年の伝統があり、毎年12月15日・16日に執り行われます。始まりは午後3時。夜赤く炎が立ちのぼると、みな無病息災や心願成就を願います。



トイレの仏様

昭和12年に完成した男女兼用の水洗トイレ・大東司。中央には迫力のある鳥窠沙摩明王が立ち、私たちを見守っています。禅宗では東司の仏様と祀られ、まさにトイレの神様ならぬ仏様です。





開山から1300年を誇る目の霊山

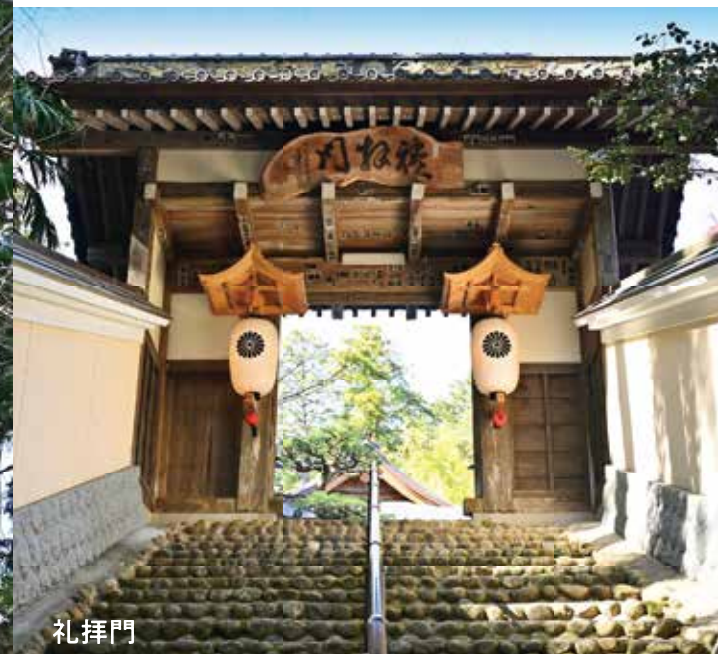
目の霊山 油山寺

行基により大宝元年(701)に開山された真言宗の古刹で、昔この山から油が湧いており「あぶらやま」と呼ばれたのが名前の由来。孝徳天皇が眼病時に霊水で眼を洗い全快したことから眼病治癒の寺として信仰を集めています。桃山の三名塔として知られる国指定重要文化財、三重の塔も見どころのひとつ。



絵馬

眼病や病気の平癒、足腰の守護を祈願して、たくさんのお絵馬が奉納されています。瞳のように見える穴の空いた硬貨を使い、「め」「目」「眼」と書かれた木の板や紙は、眼病平癒、視力回復のお礼。



礼拝門



風鈴まつり

約200個の風鈴の音色と風に揺られる姿を求め、多くの参拝客が。風鈴は厄除け・魔除けのために吊るすという由来があり、寺院の文化を伝えています。



紅葉

秋の油山寺は約1500本ものモミジに覆われ、紅葉の名所としても知られています。燃えるように赤く色づいたモミジとキラキラと光る陽の光。まるで写真のような世界が広がります。

栄西の像

中国よりお茶の種を持ち帰り日本に伝えた栄西禅師。その功績をたたえ、静岡・袋井の名産である茶葉の繁栄を祈り、昭和25年に立像が建てられました。11月に茶まつりを開催。



るりの滝

奈良時代に孝謙天皇が眼病を患った際に祈願を行い、ここの水で眼を洗ったところ病が完治したと伝えられている滝。祠には波切不動明王が祀られており、厳かな空気が参拝者を包みます。



江戸時代の由緒あるたまご料理を再現

たまごふわふわ

「東海道中膝栗毛」にも登場する「たまごふわふわ」。当時は袋井宿の朝食のお膳や、徳川家の祝宴料理として振る舞われていた江戸時代のたまご料理です。材料は卵とだし汁のみのシンプルなものです。茶碗蒸しのルーツともいわれています。メレンゲのふんわり食感と滋味深いだしの味わい。名称も調理法も当時の文献から再現され、袋井のご当地グルメとして愛されています。



袋井の美味しいもの

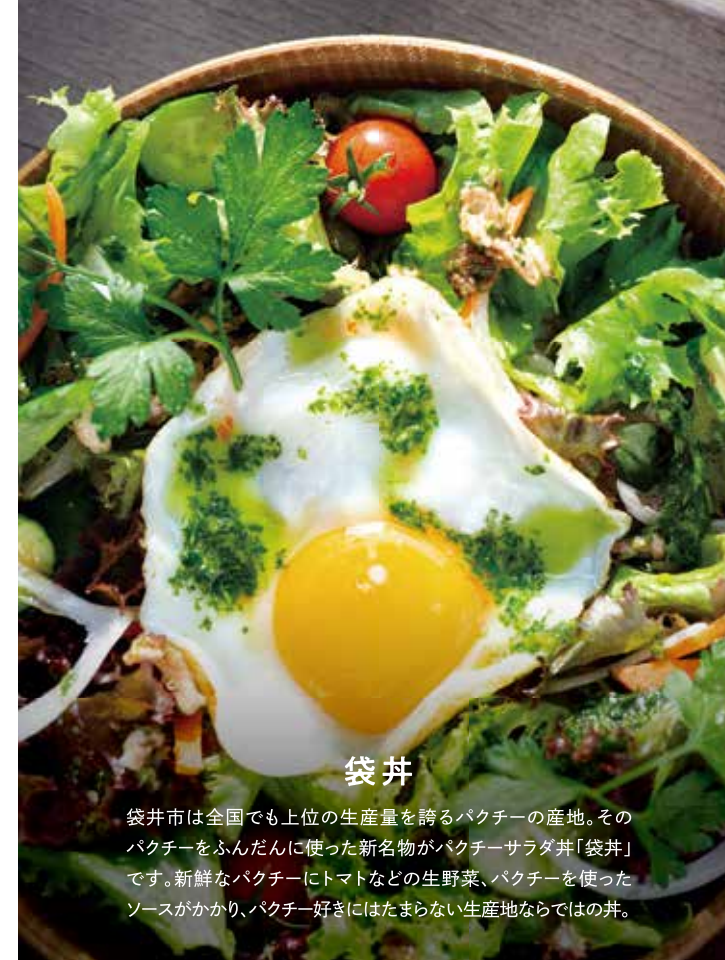
たまごふわふわ・げんこつハンバーグ・袋井・おはたき肉巻き・メロンのスイーツ



さわやかアリーナ

げんこつハンバーグ

全国的な知名度を誇り、県民のソウルフードでもある「さわやか」のげんこつハンバーグは、袋井市にある自社工場で作られています。ネーミングライツにより市総合体育館の愛称として命名された「さわやかアリーナ」を通じて地域貢献も担っています。



袋井

袋井市は全国でも上位の生産量を誇るパクチーの産地。そのパクチーをふんだんに使った新名物がパクチーサラダ丼「袋井」です。新鮮なパクチーにトマトなどの生野菜、パクチーを使ったソースがかかり、パクチー好きにはたまらない生産地ならではの丼。



おはたき肉巻き

「おはたき」は袋井市や周辺地域で江戸時代から食べられている「うるち米」のお餅のこと。歯切れがよく、子どもや年配の方でも食べやすい郷土食の「おはたき」に肉を巻いて甘しょうゆだれで焼いた、地元飲食店のグループが研究・開発したグルメです。



メロンのスイーツ

市内には、クラウンメロンを使ったスイーツがたくさん！パフェやシャーベット、ケーキのほか、贅沢にジュースにするなどメロン好きにはたまらないメニューがずらり。メロン農場や菓子店など、各店趣向を凝らしたメニューを楽しめます。

品評会でも認められるコクと旨み

ふくろい茶

澄んだ空気と茶栽培に適した土壌や気候、整った自然条件から袋井市では古くから茶栽培が盛んです。「やぶきた茶」を中心に、主に深蒸し煎茶が生産され、春の収穫時期を迎えると、茶畑は一面黄緑色に染まります。毎年行われる茶品評会でも多くの賞を受賞。市内にはお茶の文化にふれられる「香りの丘 茶ピア」も。



袋井の地酒

地元米を使った純米吟醸酒「あさば一万石」や、「驥山」などの日本酒。「國香」を仕込む國香酒造は七代続く老舗酒蔵です。袋井産サツマイモ「黄金千貫」を使って仕込んだ芋焼酎「幸浦」や、「クラウンメロンワイン」など袋井市の地酒はバラエティーに富んでいます。



黄金の茶 きら香

一番茶の時期だけ白い新芽が出る「きら香」は、袋井市のみで生産されている希少価値の高い品種。旨み成分であるアミノ酸が特に多く、苦味成分が少ないため、甘味を強く感じられるのが特徴です。



ふくほまれ

米粒はコシヒカリなどと比べると1.5倍、甘くてもっちりとした食感が特徴。稲の背が高く米が大粒のため、稲が倒れやすく栽培が難しい品種。生産量が少なく収穫も限られている特別なお米です。



全国屈指の名人による大花火大会

ふくろい遠州の花火

2時間で約2万5千発というビッグスケールに、遠方からも多く訪れる袋井の夏の風物詩。「全国花火名人選抜競技大会」が中心開催のため、全国から選抜された花火名人が集結し、技を競う圧巻の花火が目白押し。国内有数の規模と質、多彩さ、音や色、風を体感できる迫力満点、国内屈指の花火大会のひとつです。



可睡ゆりの園

東海随一と呼ばれるゆりの名所「可睡ゆりの園」は、見頃を迎える5月下旬から7月上旬のみ開園します。150種200万本のゆりが順に開花し、3万坪の広大な敷地に一面に咲く光景は圧巻です。



可睡齋ぼたん苑

4月中旬から5月上旬の期間、「可睡齋」境内の「ぼたん苑」が彩りをみせます。3千坪の敷地に咲く150品種2千株の可憐なぼたん。期間中には鉢植え販売や、お休み処では軽食を楽しめます。



コスモス畑

秋になると可憐に咲く姿を見せ、「袋井市の花」でもあるコスモス。道路脇や田畑など、市各地のあちこちをコスモスが彩ります。休耕田の雑草による荒田を防ぐためにもコスモスが植えられ、シーズンが終わり枯れたコスモスは、田畑の肥料にもなっているそうです。



日本の伝統美溢れる非日常空間

ヤマハリゾート 葛城北の丸

歴史ある古民家を移築してつくられた日本庭園が広がる美しい宿。周囲の山々など四季折々の自然や文化、癒やしの湯処、静岡の山海の幸を堪能できます。2002年サッカーワールドカップ日本代表の合宿地であり、東京2020オリンピック競技大会では、アイルランド代表選手の事前キャンプの宿泊地になるなど、多くのアスリートも使用しています。



袋井温泉 和の湯

「熱の湯」ともいわれる保温効果の高いナトリウム塩化物泉。冷えの改善や疲労回復、血管機能向上などの効能が期待できます。日本庭園のある露天風呂の他、さまざまな湯種を楽しみましょう。



大日ホテルの里

市北部にある宇刈地区はゲンジホテルの生息地。宇刈川の周辺では、5月下旬から6月上旬頃、たくさんのホテルが舞う姿を鑑賞できます。夜空いっぱいに舞うホテルの光は幻想的。



同笠海岸

県立自然公園にも指定され、東西5.6kmの美しい砂浜が広がる浅羽海岸。そのほぼ中央に位置する同笠海岸は、釣りやマリンスポーツを楽しむ人々にぎわっています。

勇壮な山車や屋台が揃う秋の風物詩

袋井秋祭り

10月中旬の金曜日から日曜日の3日間、市内各地で秋祭りが開催されます。五穀豊穡、無病息災を願い、にぎやかな祭り囃子が響く中、山車や屋台が繰り出し、まち全体が祭り一色に。市中心部の15町が集まる祭りは総称して「袋井まつり」と呼ばれ、旧東海道や静橋、駅前地区が見どころに。夜にはライトアップされた絢爛豪華な屋台も圧巻。



稚児流鎗馬

500年以上続いた神事も一度は中断しましたが、平成2年に梅山地区の有志により復活。伝統の衣装を身にまとった稚児たちが馬にまたがり、矢を放ちます。全国的にも珍しい稚児による流鎗馬です。



木原大念仏

お盆の時期に初盆の家に参り、庭先などで念仏踊りを納める「遠州大念仏」のひとつ。引手を先頭に幟や笛、鐘、太鼓などが念仏囃子を奏でます。亡くなった方を供養するための400年以上続く行事です。



かさんぼこ

8月のお盆の夜、子どもたちが新盆の家を訪れ、念仏を唱えて供養する行事。赤い布を垂らした大きな傘を先頭に、提灯を付け太鼓を乗せた盆車が続き、太鼓を鳴らしながら町内を供養に回ります。



遠州山梨祇園祭り

上山梨地区で7月中旬に行われ、山名神社から若宮八幡宮へ神輿の渡御、還御までを3日間に渡り開催。猿田彦が無病息災のため南天の棒で頭をたたいて歩きます。花火や屋台など見どころも満載。



常林寺に建つ記念碑



浅羽佐喜太郎公記念碑 落成。前列右から二人目がファン・ボイ・チャウ

ベトナムと日本を結んだ義侠の心

浅羽 佐喜太郎

あさば さきたろう (1867~1910)

明治38年、ベトナム独立運動の指導者ファン・ボイ・チャウは、仏領下の同国の窮状を訴え、来日。しかし日本政府はこれを支援せず、仏政府の要請でベトナム人留学生への圧力を強めます。その困窮の中、援助の手を差し伸べたのが、神奈川県で開業していた袋井(梅山)出身の医師、佐喜太郎でした。佐喜太郎は翌年に病気で早逝。その死を知ったファンは再び日本を訪れ、菩提寺の常林寺(袋井市梅山)に感謝と追悼の意を刻んだ記念碑を建てました。両国を結ぶ義侠の精神は、今も語り継がれています。

台湾の荒野を緑の農地に変えた奇跡の人

鳥居 信平

とりい のぶへい (1883~1946)

日本統治時代の台湾で、伏流水を利用した「地下ダム」というユニークな工法で環境を破壊せずに荒地を潤す偉業を成し遂げた袋井(上山梨)出身の水利技師。工事から100年近く経った現在も、台湾南部の20万人を超える人々がこのダムの恩恵を受けて暮らしています。近年その功績が再評価され「袋井市月見の里学遊館」に台湾の著名な実業家から胸像が寄贈されました。その眼差しは、はるか南西の台湾に向けられています。



いまの袋井を形作った

郷土の偉人たち



近代耕地開発の祖

名倉 太郎馬

なぐら たらうま (1840~1911)

明治5年、3つの河川が合流し、水害の絶えなかった彦島地域の畦畔改良工事に、自らの所有する水田を実験田として提供。この改良工事で大きな成果を上げ、田周辺の道路、用排水路・河川の整備に積極的に取り組み、耕地整理の区割りを村内に広めました。これは日本初の耕地整理事業の成功と言われ、のちに「静岡方式」として全国に広がりました。また農業面だけでなく、生活・風習の改善にまで尽力し、生涯地域のために働きました。

Fukuroi
ゆかりの
偉人

世界に認められた最初の日本人オペラ歌手と
その夫で、緑茶中のビタミンCを発見した研究者

三浦 環・三浦 政太郎

みうら たまき (1884~1946)・まさたろう (1879~1929)

三浦環・政太郎とも静岡県出身。環は日本人初の世界的オペラ歌手で、1915年のロンドン公演の成功を皮切りに、世界各国で2千回にわたりオペラ「蝶々夫人」の主役・蝶々さんを演じ、作曲者のプッチーニからも「世界で一人の理想の蝶々さん」と絶賛されました。その夫・政太郎は優秀な医学者で、環とともに滞在したロンドンでビタミンを研究。1921年に日本に単身帰国し、医学博士として活躍する中、1924年に緑茶にビタミンCが豊富に含まれ、保存状態によっては2、3年間保有されることを発見し、海外への日本茶の輸出拡大とその後の緑茶研究の礎を築きました。政太郎の墓は袋井市の正観寺にあり、海外公演中に一時帰国し、政太郎の墓を訪れた環は、墓石を抱き泣き崩れたといいます。環の位牌も、同寺に納められています。



正観寺(袋井市国本)にある政太郎の眠る墓



袋井市のあゆみ

旧袋井市

(市制施行～平成14年まで)

● 市制施行。県下で16番目の市となる。人口31,127人、5,669世帯	昭和31年	● 町制施行、浅羽町の誕生
● 静鉄秋葉線が廃止される	昭和33年	
● 山梨町を合併。面積78.71km ² 、人口約37,000人、約7,300世帯の新しい袋井市が誕生	昭和37年	
● 第18回オリンピック東京大会開催、国内聖火リレー市内を通過	昭和38年	
	昭和39年	
	昭和41年	● 国道150号開通
● 国指定の重要文化財・油山寺三重塔復元工事開始	昭和42年	● 静鉄駿遠線(袋井～新三俣)廃止、代行バス化
● 静鉄駿遠線(袋井～新三俣)が廃止	昭和44年	
● 東名高速道路が開通し、袋井インターチェンジが開設される	昭和45年	
● 市立図書館開館	昭和47年	● 旧駿遠鉄道敷が自転車歩行車道に
● 市制施行15周年を記念して、市の木に「まき」、市の花に「ボタン」を制定	昭和48年	● 町の花に「ツツジ」、町の木に「クロマツ」、町の鳥に「ツバメ」を制定
	昭和50年	● 織物不況で買い上げ織機の破砕始まる、町内で74工場廃業
● 袋井高校の新校舎が完成して開校、230人の第1期生が入学	昭和51年	● 町民会館完成
● 工業出荷額が、1,000億円を突破(1,090億円)	昭和52年	● 町営野球場完成
● 天皇御一家に袋井茶献上の栄誉を受ける		
● 市立山梨市高等家政学校が開校		
● 市制施行20周年、「まちを美しくする都市宣言」を行う	昭和53年	
● 久能地内に新袋井市民病院完成	昭和54年	● 遠州広域水道通水
● 原野谷川河川敷公園が完成	昭和55年	● 勤労者体育センター完成
● 市の一般会計予算が初めて100億円を上回る	昭和56年	
● 新庁舎落成。市民憲章を制定		
● 市制施行25周年、記念式典を挙行	昭和58年	● 袋井・浅羽聖苑完成
	昭和59年	● 役場新庁舎完成
	昭和60年	● 国勢調査で町の人口増加率が静岡県第1位に
● 市の人口が5万人を突破	昭和61年	● 浅羽図書館完成
● 市制施行30周年。現市立図書館落成		
● 原野谷川、東海道線、新幹線をまたぐ「広愛大橋」が完成	昭和63年	
● 第1回「田園コンサート」を開催		
● 米国オレゴン州ヒルズボロ市と国際姉妹都市提携を結ぶ		
● 国道1号袋井バイパス、堀越インターチェンジ～磐田市岩井間が開通	平成元年	● B&G浅羽海洋センタープール完成
● 静岡理科大学が開学	平成3年	● 郷土資料館開館
● 県が建設する大規模スポーツ公園建設地が小笠山に決定	平成4年	● 「日本一メローなまち」を地域づくりのテーマに決定
● 国道1号袋井バイパス、堀越インターチェンジ～久能インターチェンジ間が開通	平成5年	● 第1回ふれあい夢市場開催
● 東海アクシス看護専門学校が開校	平成6年	● 二瀬多目的運動広場完成
● 「日本一健康文化都市」を、市制施行35周年記念式典で宣言	平成7年	● 「日本一メローなまち」のシンボルマーク決定
● 国道1号袋井バイパス全線開通	平成8年	
● 平成15年開催の第58回国体の開・閉会式、陸上競技、バスケットボール(少年男子)の開催が本市に決定	平成10年	
● 2002年FIFAワールドカップが日韓共同開催に決定し、小笠山総合運動公園が開催会場に決定	平成12年	● 第1回県市町村対抗駅伝競走大会で町村の部優勝
● 市制施行40周年	平成13年	
● 「五街道どまん中サミット袋井宿大会」を開催	平成14年	● 公共下水道供用開始
● 市の人口が6万人を突破		
● 月見の里学遊館オープン		● JR愛野駅開業
● 静岡スタジアムエコパオープン		● 澤野医院記念館オープン
● 東海道どまん中400年祭開催		
● 静岡スタジアムエコパでFIFAワールドカップ開催		

旧浅羽町

(町制施行～平成14年まで)

旧袋井市

(平成15年～平成17年まで)

- 袋井市・森町・浅羽町合併協議会設置
- NEW!!わかふじ国体、わかふじ大会開催
エコパで開・閉会式、陸上競技、バスケットボール(少年男子)などを開催
- 市制施行45周年記念式典開催
- 袋井市・浅羽町合併協定書に調印。4月1日浅羽町と合併

平成15年

平成17年

旧浅羽町

(平成15年～平成17年まで)

- NEW!!わかふじ国体で炬火リレー、自転車競技ロードレース、陸上競技ハーフマラソンのコースに
- 袋井市・浅羽町合併協定書に調印。4月1日袋井市と合併



新袋井市役所開庁



平成の命山(中新田地区)



中東遠総合医療センター

袋井市

(新袋井市誕生～令和2年まで)

平成17年	● 新袋井市が誕生	● 長野県塩尻市と山梨県北杜市に友好都市証を交付
平成18年	● 海岸松林再生に着手(グリーンウエーブキャンペーン)	
平成19年	● 袋井の地酒・純米酒「驕山」販売開始	● 「健康チャレンジ!!すまいる運動」マイレージ制度導入
平成20年	● 第1回「どまん中ふくろい全国だんごまつり」開催	● 袋井市の健康づくりに関する取組に対し総務大臣表彰受賞
平成21年	● JR袋井駅前に「観光案内所」オープン	
平成22年	● 郷土の偉人 鳥居信平氏胸像除幕式	● 第24回国民文化祭開催
平成23年	● 市制施行5周年記念式典開催	● 日本一健康文化都市宣言
平成24年	● 「メローブラザ」落成	● 核兵器廃絶平和都市宣言
平成25年	● 袋井市キャラクター「フッピー」誕生	● 市の木・花・鳥 決定
平成26年	● 第36回「全国育樹祭」開催	● 津波避難タワー(愛称「きらりんタワー」)完成
平成27年	● 福井県鯖江市との災害時相互応援協定締結	● 「中東遠総合医療センター」開院
平成28年	● 「平成の命山」完成(湊東地区)	● 「袋井市ふるさと防災寄附金」募集開始
平成29年	● 姉妹都市提携25周年を記念し米国ヒルズボロ市に市民訪問団を派遣	
平成30年	● 「袋井駅南北自由通路・橋上駅舎」落成	
令和元年	● 「袋井市総合健康センター」開設	● 市制施行10周年記念式典
令和2年	● 2019人ラグビーチャレンジシリーズ スクラムギネスに挑戦し「ギネス世界記録」達成	● 袋井宿開設400年記念祭開催
	● 宮城県岩沼市と友好都市提携調印	
	● ふくろい市民映画「Magic Town」完成	
	● 公民館をコミュニティセンターへ移行	● 2019人ラグビーチャレンジシリーズ ラグビーバスリレー開催
	● 米国オレゴン州ヒルズボロ市との姉妹都市提携30周年記念式典開催	● 天皇、皇后両陛下が常林寺、郷土資料館・近藤記念館をご訪問
	● 袋井市の健康づくりに関する取組に対しWHO(世界保健機関)AFHC(健康都市連合)から表彰	
	● 東京2020オリンピック事前キャンプ地としてアイルランドオリンピック委員会と本契約締結	
	● 2019人ラグビーチャレンジシリーズ ラグビー・キック、チャレンジ開催	● 2019人ラグビーチャレンジシリーズ ラグビー・トライ、チャレンジ開催
	● ラグビーワールドカップ2019開催	● エコパ周辺おもてなしエリアで袋井の魅力を発信
	● 袋井市総合体育館「さわやかアリーナ」オープン	● 袋井消防庁舎・防災センター開所
	● 市制施行15周年記念式典	● 袋井市教育会館オープン

「日本一健康文化都市」の さらなる進化・深化を目指して

まちの将来像

活力と創造で未来を先取る 日本一健康文化都市

「健康文化都市」とは、「健康」がまちの文化として根付き、心も体も健康であることはもちろんのこと、家庭や地域の関係も円満で、都市と自然が調和するなど、人もまちもすべてが良好な状態で住みやすいまちのことです。

私たち袋井市民は、心身ともに健康で豊かに暮らすための「心と体の健康」、良好な住環境の形成や産業を活性化するための「都市と自然の健康」、市民や地域の力を未来の発展につなげる「地域と社会の健康」の3つの健康の柱を充実させることで、常に時代の一步先を行く“日本一健康文化都市”の実現を目指します。

心と体の
健康

日本一
健康文化都市

都市と自然の
健康

地域と社会の
健康



袋井市の
未来を
つくる

3つのまちづくりの基本目標

心と体の健康

子どもがすこやかに育ち みんなが健康で幸せに暮らすまち

誰もが健康で幸せに暮らし続けられるように、保健・医療、福祉を充実するとともに、スポーツや生涯学習、社会貢献活動等を通じて生きがいと心の充足を図り、健康寿命を延ばす取組を推進します。また、子どもたちの育ちを支える取組として、安心して産み育てられる環境を充実するとともに、未来をたくましく生きる力を育む教育を推進し、「子育てするなら袋井市」と言われるまちを目指します。

都市と自然の健康

活力にあふれ 潤いと安全・安心を実感できるまち

まちが活力にあふれ持続的に発展し続けられるように、私たちの生活基盤であり、まちの活力の源でもある産業を育成し、革新と創造へのチャレンジを促進します。また、誰もが安心して快適に暮らし続けるために、防災・防犯対策を充実するとともに、良質な住環境の創出や、多様な自然環境を次世代に継承する取組を推進し、「定住するなら袋井市」と言われるまちを目指します。

地域と社会の健康

つながりと交流を大切にし 豊かな市民力で未来を拓くまち

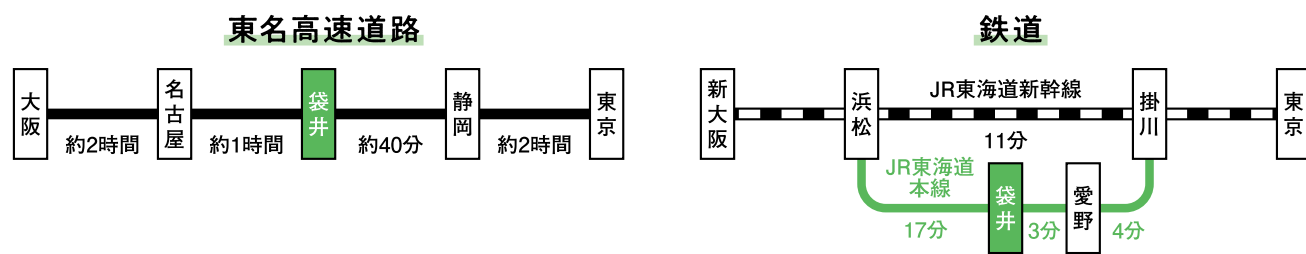
誰もが誇りと愛着を持って暮らし続けられるように、人と人との絆を大切にし、お互いの個性と創造性を認め合い、助ける真の豊かさを感じられる“ふくろい”を築いていきます。また、本市固有の歴史や文化を創造し継承する取組を推進し、地域資源を磨き高めるとともに、国内外との交流を深めることで、未来に力強く踏み出し、「市民力なら袋井市」と言われるまちを目指します。

第2次袋井市総合計画 後期基本計画 施策体系

活力と創造で未来を先取る日本一健康文化都市



袋井市 基本情報



市の木・キンモクセイ

庭木として多くの家庭などに植えられ、広く親しまれています。秋にはオレンジ色の花が咲き、甘い香りが漂います。



市の花・コスモス

秋になると、市内各地で彩り豊かなコスモス畑が見られます。可憐で美しく親しみやすい花です。



市の鳥・フクロウ

鎌倉時代の遺塵和歌集の中でも「袋井」に掛けて詠まれるなど、市名と語感的にも類似していることから親しみを感じる鳥です。



袋井市キャラクター
フッピー

市の鳥「フクロウ」がベース、頭には、市の木・花「キンモクセイ」と「コスモス」の飾り。翼を広げ、元気にジャンプする姿は、飛躍する袋井市をイメージしています。



袋井市	
面積	108.33km ²
北緯	34度45分01秒
東経	137度55分29秒
姉妹都市	アメリカ合衆国オレゴン州ヒルズボロ市（昭和63年11月3日） 長野県塩尻市（平成22年10月23日）
友好都市	山梨県北杜市（平成17年6月25日） 宮城県岩沼市（平成28年10月29日）
特産品	マスクメロン（クラウンメロン）、茶、米
人口	88,257人（令和3年3月1日現在）
世帯数	35,370世帯（令和3年3月1日現在）



企画政策課 シティプロモーション室
TEL:0538-44-3104
静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>